

※の欄を設計者が記入のこと

建築物の名称 ※	
建築物の所在地 ※	
設計者氏名 ※	
審査員氏名	

	認定事項	等級	確認項目	設計内容説明欄		※	確認欄
				項目	設計内容		
1.	構造躯体等の劣化の対策	3	外壁の軸組等	外壁の構造等 (地面から1m)	・ 外壁の構造 (☒ 通気構造等 ☐ その他) ・ 柱 ☐ 製材等 (樹種) ☒ 集成材等 (種類 構造用集成材) 小径 (105 mm) 薬剤処理 ☒ あり (現場 日本白蟻対策協会) ☐ 無 ・ 柱以外の軸材・下地材 (間柱・筋かい・胴縁等) ☒ 製材等 (樹種 米桐) ☒ 集成材等 (種類 構造用集成材) 薬剤処理 ☒ あり (現場 日本白蟻対策協会) ☐ 無 ・ 構造用合板等の種類 種類 (構造用合板) 薬剤処理 ☒ あり (現場 日本白蟻対策協会) ☐ 無	☐ 仕上表 ☐ 伏図	
			土台	防腐防蟻処理	・ 土台に接する外壁下端の水切 (☒ あり ☐ なし) ・ 土台の樹種 (桧) 薬剤処理 ☐ あり () ☐ 無	☐ 仕上表 ☐ 矩計図 ☐ 伏図	
			浴室・脱衣室の防水	防水上の措置	・ 浴室 ☒ 浴室ユニット ☐ 防水上有効仕上げ ☐ その他防水措置 ☐ 防腐措置 方法 (JIS-A-4416同等品) ・ 脱衣室 ☒ 防水上有効仕上げ ☐ その他防水措置 ☐ 防腐措置 方法 (耐水合板の上、CFシート貼り)	☐ 仕上表 ☐ 平面図	
			地盤	防蟻措置 基礎高さ	・ 防蟻方法 ☒ べた基礎等 ☐ 土壌処理 ☐ その他 ・ 地盤面から基礎上端又は地盤面から土台下端までの高さ (400 mm)	☐ 仕上表 ☐ 矩計図	
			床下防湿 換気措置	防湿方式	☒ コンクリート (厚さ 150 mm) ☐ 防湿フィルム (厚さ mm) (材料) (認定番号)	☐ 仕上表 ☐ 矩計図 ☐ 基礎詳細	
				換気措置	☐ 基礎部開口 (外周部の設置間隔 m) (開口高さ mm) (開口幅 mm) ☒ ねこ土台 (有効面積 75 cm ² /m) (高さ 2 cm)		
			小屋裏換気	小屋裏換気	・ 換気口の位置 (給気口: 排気口:) 換気口の面積の天井面積に対する割合 1階 (給) (排) 下屋等 (給) (排) 下屋等 (給) (排) 2階 (給) (排)	☐ 仕上表 ☐ 矩計図 ☐ 屋根伏図 ☐ 計算書	
			点検空間の確保	床下措置	☒ 区分された床下空間毎に点検口がある	☐ 平面図 ☐ 伏図 ☐ 矩計図	
				小屋裏措置 床下空間	☒ 区分された小屋裏空間毎に点検口がある ・ 床下有効高さ (330 mm)		

※の欄を設計者が記入のこと

認定事項	等級 ※	確認項目	設計内容説明欄			※ 記載図書	確認 欄
			項目	設計内容			
2. 耐震性	3	土台・柱	柱の小径	・ 小径 () mm)	☒ 平面図		
			アンカーボルト	・ 品質 ()	☐ 伏図		
				・ 埋込み長さ () mm)	☐ 基礎詳細		
				・ 位置 ()	☐		
					・ 間隔 () mm)	☐	
		耐力壁	筋かい耐力壁	・ 種類 () 寸法 ()	☒ 仕上表		
				・ 種類 () 寸法 ()	☐ 伏図		
			木摺耐力壁	・ 種類 () 寸法 ()	☐ 壁量計算		
				・ 間隔 ()	☐		
			面材耐力壁	・ 種類 ()	☐		
				・ 材厚さ () mm) 倍率 ()	☐		
				・ くぎ種類 () くぎ間隔 () mm)	☐		
			基準法上の存在壁量	・ X軸1階 () m) 2階 () m)	☐		
				・ Y軸1階 () m) 2階 () m)	☐		
			基準法上の必要壁量	・ X軸1階 () m) 2階 () m)	☐		
				・ Y軸1階 () m) 2階 () m)	☐		
			準耐力壁等	階高	・ 1階 () mm) 2階 () mm)		☐ 仕上表
		天井高		・ 1階 () mm) 2階 () mm)	☐ 矩計図		
		横架材間距離		・ 1階 () mm) 2階 () mm)	☐ 伏図		
		開口高さ		・ 掃出窓 () mm) 腰大 () mm)	☐ 壁量計算		
				・ 腰中 () mm) 腰小 () mm)	☐		
				・ その他 () mm) () mm)	☐		
		木摺準耐力壁等		・ 種類 () 寸法 ()	☐		
				・ 間隔 ()	☐		
面材準耐力壁等	・ 種類 ()	☐					
	・ 材厚さ () mm)	☐					
	・ くぎ種類 () くぎ間隔 () mm)	☐					
性能表示上の存在壁量	・ X軸1階 () m) 2階 () m)	☐					
	・ Y軸1階 () m) 2階 () m)	☐					
耐震等級の必要壁量	・ X軸1階 () m) 2階 () m)	☐					
	・ Y軸1階 () m) 2階 () m)	☐					
床組等	火打ち構面	・ 種類 ()	☐ 仕上表				
		・ 隅長 () mm) 取合梁背 () mm)	☐ 矩計図				
		・ 火打ち構面の位置 ()	☐ 伏図				
	2階床面	・ 面材の種類 ()	☐ 壁量計算				
		・ 根太間隔 () mm) 工法 ()	☐				
		・ くぎ種類 () くぎ間隔 () mm)	☐				
小屋床面	・ 面材の種類 ()	☐					
	・ 根太間隔 () mm) 工法 ()	☐					
	・ くぎ種類 () くぎ間隔 () mm)	☐					
屋根面	屋根勾配	・ 勾配 ()	☐ 仕上表				
		・ 面材の種類 ()	☐ 矩計図				
	屋根面	・ 垂木間隔 () mm) 工法 ()	☐ 伏図				
		・ くぎ種類 () くぎ間隔 () mm)	☐ 壁量計算				

※の欄を設計者が記入のこと

認定事項	等級	確認項目	設計内容説明欄		※		確認欄
			項目	設計内容	記載図書		
2.	耐震等級	3	接合部	金物の品質	・ 品質 ()	☐ 仕上表	
				筋かい端部の接合部	・ 金物 () 仕口 ()	☐ 伏図	
柱脚・柱頭の接合部	・ 金物 () 仕口 () () () ()	☐ ☐ ☐ ☐ ☐					
下屋等の横架材接合部	・ 金物 () 仕口 ()	☐ ☐					
胴差しと通し柱の接合部	・ 金物 () 仕口 ()	☐ ☐					
基礎1 (寸法・配筋等)	根入れ深さ	・ 深さ () mm		☐ 仕上表			
	立上がり部分	・ 高さ () mm 厚さ () mm		☐ 矩計図			
	底盤	・ 厚さ () mm 幅 () mm		☐ 伏図			
	基礎の配筋	・ 主筋 () ・ 標準部の補強筋 () ・ 隅角部の補強筋 () ・ 開口直下の補強筋 ()		☐ 基礎詳細 ☐ ☐ ☐			
横架材	床大梁	・ 幅 最小 () mm 最大 () mm		☐ 仕上表			
		・ 背 最小 () mm 最大 () mm	☐ 矩計図				
		・ 間隔最小 () mm 最大 () mm	☐ 伏図				
	床小梁	・ 幅 最小 () mm 最大 () mm	☐ 軸組図				
		・ 背 最小 () mm 最大 () mm	☐				
		・ 間隔最小 () mm 最大 () mm	☐				
	小屋梁	・ 幅 最小 () mm 最大 () mm	☐				
		・ 背 最小 () mm 最大 () mm	☐				
		・ 間隔最小 () mm 最大 () mm	☐				
	胴差し	・ 幅 最小 () mm 最大 () mm	☐				
		・ 背 最小 () mm 最大 () mm	☐				
		・ 間隔最小 () mm 最大 () mm	☐				
	根太	・ 幅 最小 () mm 最大 () mm	☐				
		・ 背 最小 () mm 最大 () mm	☐				
・ 間隔最小 () mm 最大 () mm		☐					
垂木	・ 幅 最小 () mm 最大 () mm	☐					
	・ 背 最小 () mm 最大 () mm	☐					
	・ 間隔最小 () mm 最大 () mm	☐					
地震に対するその他の性能評価(免震構造)						☐ 維持管理計画書	
☐ H12告示2009号第1第3号による計算、構造方法 ☐ 同告示第2の該当する号 () a) 免震材料等の維持管理計画図書 b) 敷地の管理に関する計画図書						☐ 敷地の管理計画書	
☐ 該当なし ☐ 地上部の各階の安全限界変形の当該階の高さに対する割合が1/40以下であることを確認 ☐ 各階の変形をそれぞれ当該階の安全限界変形の75%以下であることを確認 ☐ 等級2または等級3であることを確認、かつ各階の安全限界変形の高さに対する割合1/30以下						☐ 計算書	
☐ 該当なし ☐ 該当なし							

[illegible]

認定事項	等級	確認項目	設計内容説明欄		※	確認欄	
			項目	設計内容	記載図書		
6. 省エネルギー対策	4	断熱等性能等級 ()地域	適用する基準	☒ 建築主等判断基準 ☐ 設計施工指針(本則) ☐ 設計施工指針(附則)			
			建築主等判断基準又は設計施工指針本則	外皮平均熱貫流率	☒ 外皮平均熱貫流率(U_A 値) () ($W/(m^2 \cdot K)$)		☐ 仕上表 ☒ 計算書
				冷房期の平均日射熱取得率	☒ 冷房期の平均日射熱取得率 η_A ()		☐
			設計施工指針附則	適用条件	開口部比率 ()		
				躯体の断熱性能等	☐ 熱貫流率の基準の適合 ☐ 断熱材の熱抵抗値の基準に適合		
				開口部の断熱性能等	開口部比率の区分 ☐ 区分(い) ☐ 区分(ろ) ☐ 区分(は) ☐ 緩和措置有り ☐ 窓の断熱(2%緩和) ☐ 窓の日射(4%緩和)		
結露防止対策	繊維系断熱材	・ 繊維系断熱材等の使用 (☒ 有 ☐ 無)	☐ 仕上表 ☒ 計算書				
	防湿層の設置	・ 防湿層の設置 (☒ 有 ☐ 無)	☐				
		☐ 除外規定適用 ()					
	通気層の設置	・ 通気層の設置 (☒ 有 ☐ 無)	☐				
		・ 防風層の設置 (☒ 有 ☐ 無) ☐ 除外規定適用 ()					
透湿抵抗比により、防湿層・通気層・防風層を省略する場合	・ 透湿抵抗比 屋根 (>) 壁 (>) (>)						
認定書等		認定書等活用 ☐ ()					

7. 住宅の規模	住宅の面積	・ 住宅の専用面積 () m² ・ 40 m²以上ある階 () 階 () m² - うち階段部分の面積 () m²	☒ 求積図 ☒ 平面図 ☐
8. 居住環境の維持及び向上への配慮			
9. 維持保全の方法		・ 期間 () 年以上 ☒ その他の基準への適合	☒ 申請書 ☒ 維持保全計画書 ☐
10. 資金計画		☒ 建築に要する費用の設定 ☒ 維持保全に要する費用の設定	☒ 申請書 ☐

長期優良住宅に関する設計内容説明書＜木造軸組工法 一戸建て住宅＞

(性能付第1面)

※の欄を設計者が記入のこと

	確認項目	設計内容説明欄			※確認欄
		項目	設計内容	記載図書	
1. 劣化の対策	点検空間の確保	床下措置 小屋裏措置 床下空間	■ 区分された床下空間毎に点検口がある ■ 区分された小屋裏空間毎に点検口がある ・ 床下有効高さ (mm)	☐ 平面図 ☐ 伏図 ☐ 矩計図	
7. 住宅の規模	住宅の面積	住宅の面積	・ 住宅の専用面積 () m² ・ 40 m²以上ある階 () 階 () m² うち階段部分の面積 () m²	☐ 求積図 ☐ ☐	
8. 居住環境の維持及び向上への配慮					
9. 維持保全の方法			・ 期間 () 年以上 ☐ その他の基準への適合	☐ 申請書 ☐ 維持保全計画書	
10. 資金計画			☐ 建築に要する費用の設定 ☐ 維持保全に要する費用の設定	☐ 申請書 ☐	